

いってきまーすの、 その前に！

今回は、車輪脱落事故や走行不能につながるかな
ない、「ホイールナット」と「クラッチディスク」に
関するトラブルと予防法を紹介します。



ホイールナット

ホイールナットから サビが出ていたら

もしかすると・・・

ナットがゆるんでいる、
ホイールが損傷している可能性がある。

そのままにしておく・・・

- ホイールナットが外れたり
ボルトが折れたりすることで、
脱輪の恐れがある。

予防のポイント！

- ホイールナットがゆるんでいないか点検
- タイヤを交換したら、50～100km走行後に、しっかり増し締め
- 1日1回、日常点検を徹底する
- ホイールに適合したボルト、ナットを使用する



車輪脱落防止のための正しい車輪の取り扱いについて
詳しくはこちら
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



クラッチディスク

クラッチがつながりにくい

もしかすると・・・

クラッチディスクが摩耗により、
減っている可能性がある。

そのままにしておく・・・

- クラッチがすべり、エンジンの動力が
トランスミッションに伝わらず、
走行できなくなる。

予防のポイント！

- 安全運転に支障がない範囲内で半クラッチの状態を短くし、
クラッチディスクの摩耗を減らす。
- クラッチペダルの遊び、およびクラッチの作用を定期的
に点検。
- ペダルを指で押し込み1段階までのペダルの動き代(遊び)
を、スケールで測定し基準値(5～10mm)内にあるかを点検。



点検時期(シビアコンディション項目)
「事業用」3カ月ごと、「自家用」6カ月ごと